

平成三十年九月

神 示

「悔いなき人生」手にするために 人は奉仕に「生きる」心が必要  
なれど 「真理」がつかめぬために

人との出会いが生かせず 「道」欠き 悩む

皆信者に問う

「希望の光」が通る 心の姿を意識していようか

「教え」を学び 「人生」に生かす努力が大切

「運命」の力を頼る心が持てていようか

互助する心は大切なれど

「運命」の力を世社会に奉仕する心信念が 「人生」を守る

「導神」「心導」共に心は得徳えとくにつながる

なぜ 神は 使者を通して 社会に「真理」を教えるのか 分かるかや

人人間がいかに努力し 過去歴史に学び 分析を重ねても 先将来は見えない

一人として同じ運命はない 時代の姿運命も同じ

人類は 「教え」を学び 「真理」に悟りを得ること

歴史 経験を生かせる

知識を「真理」で見詰め直すほど あるべき世界の姿が見えてくる

品性 人徳は 「真理」に裏打ちされて 「人生」を守る知恵となる